

報道されない「口蹄疫がEMで解決された事実②」

いい環境は自然にたくさんの有用な微生物集団が活躍しています。そんな場づくりを応援します。



重機のオペレーターもマスクを外して埋却作業を行っていました

現場では、近隣から苦情があった悪臭は消え、噴火のごとく吹き出していた血液などの体液やガスの発生も止まり、ハエもほとんどみあたりませんでした



6月2日 比嘉先生は町長や副町長にEM活用を説明し、町の関係者と共に現場検証に向かいました



5月29日 比嘉先生は持てるだけのEMを持たせてEMボランティアを送り出し

この簡略法は2倍以上の処理が可能であり、その後の2次汚染が全く発生しないことも明らかになりました



比嘉先生 国の予算は変更できないがボランティアで協力いただけるのであればお願いしたい

対策本部長 「EMの埋却法でより効率化させ、感染拡大防止に「えび」の方式」を提案します



EM活用 本格化!

この成果を踏まえ、新富町の文化センター駐車場に1日10トンのEM活性液が作れるようにタンクを設置し6月4日から本格的にEM活用をはじめました

その後、口蹄疫が飛び火した地域に対して次々に「えびの方式」を実行しました



宮崎中高岡町でのEM活性液タンク



高岡地区のEM活性液

宮崎県綾町でのEM活性液タンク

2トンフルと500リタンク(新富町)

その後、口蹄疫は終息しました宮崎県はようやく落ち着きを取り戻しました

EMボランティアの一連の行動や成果に対して、農林水産大臣から感謝状が送られ、代表で比嘉先生が受け取りました

感謝状 比嘉先生殿

農林水産大臣からの感謝状

沢山のボランティアが行動し、迅速なEM活用をしました




EMの埋却法でより効率化させ、感染拡大防止に「えび」の方式を提案します

比嘉先生

韓国の口蹄疫もEM効果

2010年12月に韓国で発生した口蹄疫の規模は宮崎県の比ではなく、処分された家畜は200万頭を超えました。ミョン氏は牛150頭を養っており、EM活性液を活用していました。ミョン氏の農場から200m先の農場まで口蹄疫は広がっており、感染を拡大したと疑われる業者が、ミョン氏の農場にも寄ったため一時は殺処分の対象になっていたそうです。しかし、4回の検査結果は全て陰性でした。またミョン氏からEM活性液を分けてもらっている6カ所の畜産農家も、口蹄疫から逃れました。今まで、EMを使っている畜産農家は、口蹄疫や鳥インフルエンザの感染、被害は発生していません。



畜産用に国に認可されているよEM1号の中心的役割を果たしている光合成細菌は多様な抗ウィルス作用があり、一般的に広く認知されているよ

EMの主要構成菌の、乳酸菌や酵母は、免疫力を高めるための様々な抗ウィルス作用があるよ

すばらしい肥料に变身!!

家畜の糞尿

僕たちの糞も使ってね! 有機農業を支える大きな力になるよ

衛生問題解決!

悪臭が消える

水質汚染なくなる

畜産公害がなくなり環境良好

- 抗生物質、薬品が不要になる
- 飼料の効率が10~15%高まる
- 生産物の品質が良好になる

効果がたくさんあります

- 鳥インフルエンザ
- 口蹄疫
- コイヘルペス
- イエローヘッドウィルス
- ホワイトスポットヘルペス(エビに感染するウィルス)

生物に発生するすべてのウィルスに効果あり

EMを畜産に活用すると